

美白効果 評価試験

美白効果を目的とした化粧品・サプリメントを対象にメラニン産生細胞を含む、3次元培養皮膚モデルを用いて評価試験を行います。

はじめに

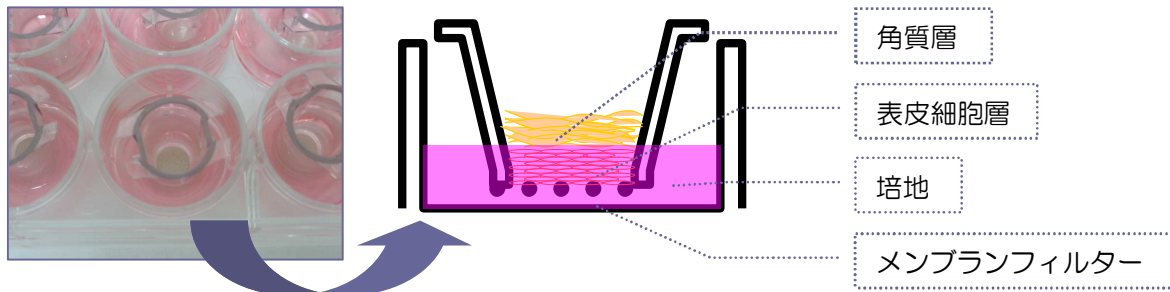
シミは紫外線の刺激を受けた皮膚内の色素細胞（メラノサイト）がメラニンを産生し、これが沈着したものとされています。

美白作用のひとつとして、色素細胞のメラニン産生を阻害するというものがあり、本試験では試験品にこのメラニン産生阻害作用が有るか否かを評価致します。

3次元培養皮膚モデルとは

3次元培養皮膚モデルは、表皮細胞が角質層に覆われている立体的な構造をしており、ヒトの皮膚に極めて近い構造となっています。

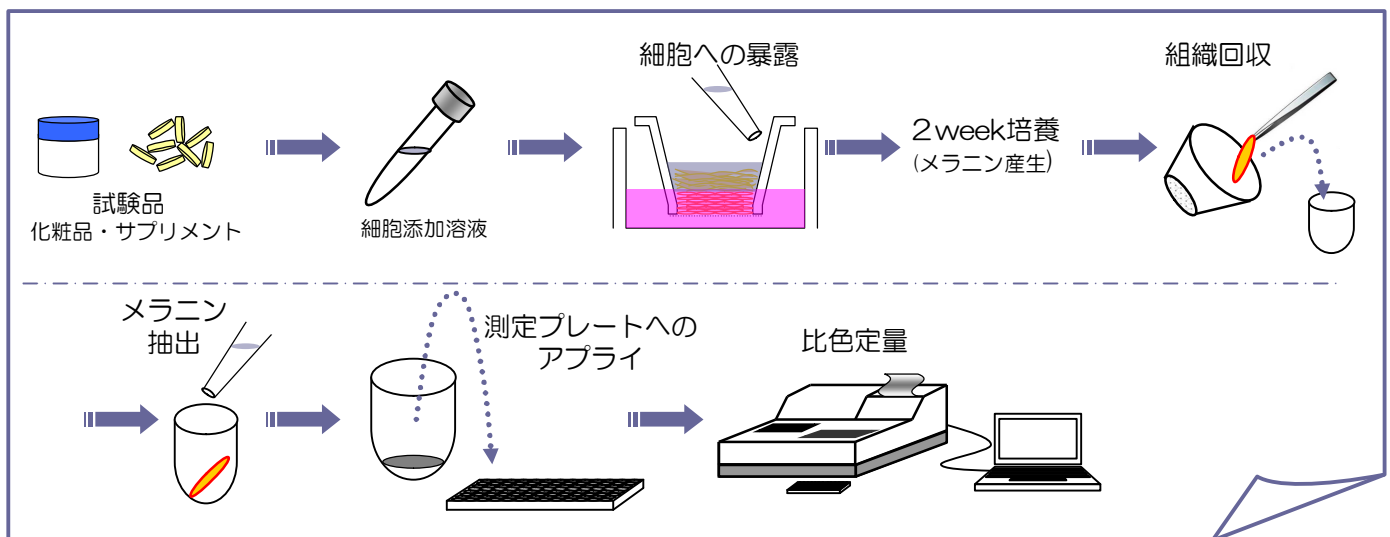
この3次元培養皮膚モデルを使用することで、フラスコ等で平面的に培養された皮膚細胞では困難であった美白効果試験・薬剤浸透性試験を簡便かつ高い再現性で行うことができます。



評価方法

試験品を細胞添加溶液に調整しメラニン産生細胞を含む3次元培養皮膚モデルに添加します。2週間メラニン産生を促す培地の中で培養します。（コントロールは目視で色素の増加が確認できます）培養後、組織を丁寧に剥がし取り、メラニン色素の抽出を行います。抽出されたメラニン色素をプレートリーダーを用いて非色定量を行い、コントロール・対照品と比較することで美白効果の評価を行います。

試験の流れ



www.tes-h.co.jp/



【お問い合わせ先】

株式会社TESホールディングス

東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学アントレプレナープラザ 6F

TEL:03-6801-8480 FAX:03-6801-8481